

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にわっさむの元気情報を発信

vol 11



和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、交流人口の拡大と将来の移住・定住人口の拡大を目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送をおこなっています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分(30分間)です。

■「月刊わっさむ」7月23日  
第28回放送  
全日本玉入れ協会  
理事 田中靖之さんがゲスト出演

9月1日開催の全日本玉入れ選手権について協会理事の田中靖之さんから語っていただきました。



「100個の球をいかに早く入れるかを競うタイムトライアル。アンカーボールを100個目に入れなければ失格。独特なルール。」と玉入れについて紹介しました。

「経験がなくてもどなたでも参加することができます。気軽に和寒に遊びに来て玉入れを楽しんでほしい。」と出場を呼びかけました。

■「月刊わっさむ」8月27日 第29回放送  
北海道大学助教 アンソニー・チッテンデンさん、  
宮部瑤子さんがゲスト出演

8月22日に北海道大学国際本部内教育研修センター主催の地域持続モデル構築フィールド研修にインドネシアなど9カ国の留学生50名が参加しました。和寒町を訪れたお二人は、農業研修を振り返り、「和寒町はのどかで広大な大地が広がっていました。その中で育ったためかトマトジュースはとても甘みが強くおいしかったです。越冬キャベツや土壌診断分析などについて学び、色々な農業施設を視察させていただき、初めて見るものばかり。活性化センターにあった巨大なかぼちゃには驚きました。」と研修生の宮部さん。

英語指導助手として本町に3年間在住していたアンソニーさんは「たくさんのかたに協力していただき、町民のみなさんの優しさを感じました。来年もぜひ和寒を訪問したいです。一緒にいかが」とリスナーに来町を呼びかけていただきました。



■「月刊わっさむ」9月24日 第30回放送  
パンプキンフェスティバル 荒瀬実行委員長が電話中継



10月13日開催の『第16回パンプキンフェスティバル』について実行委員長(野菜組合連合会長)の荒瀬雅之さんから語っていただきました。

「南瓜やキャベツ、馬鈴薯、玉ねぎなど農産物の販売や各種露店、毎年好評の南瓜汁やそばなどの試食、カボチャランタン掘りや熱気球搭乗体験、南瓜のつかみ取りなど様々なイベントを用意しています。お楽しみ抽選会も野菜の詰合せやお米など、豪華景品を用意しています。」とイベントの見どころ、食べどころを紹介。

「親子で楽しめる内容となっていますので、ぜひ和寒町にお越しください。」と来町を呼びかけました。

☆三角山市場にて農産物販売☆

9月28日(土)、三角山放送局主催の「第22回三角山市場」が開催されました。

札幌市西区との交流事業として、和寒町も恵みの市運営委員会の協力により、南瓜、トマトや玉ねぎ、馬鈴薯など農産物を販売しました。

持参した農産物は全て売り切れとなる人気ぶり。途中ラジオ局ならではの生放送のインタビューもあり、和寒の農産物をPRする良い機会となりました。



◆放送を聴くためには

札幌(西区周辺地域)で聴くには、周波数 F M76.2MHzに合わせてください。

和寒で見る・聴くには、三角山放送局のHP (<http://www.sankakuyama.co.jp>) からご覧になれます。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

■番組のお問い合わせは 役場総務課まちづくり推進係 (TEL32-2421) まで